

プロの手ほどき受け製作

技能フェア函館市民でにぎわう



【函館】市民にもものづくりの楽しさを伝え、技能の重要性などを理解してもらおう2016年度の

技能フェアが13日、ポリテクセンター函館で開かれた。子どもたちは建築や建具、塗装などの技能

工具の使い方を教わりながら作品を完成させた

士から道具の使い方を教わり、完成させた作品を笑顔で持ち帰った。

全国職業能力開発促進月間の行事の一環として、第33回技能士と市民のつどいを兼ねて実施。

函館技能士会、函館地区建築技能士会、渡島総合局、函館市、函館高等技専、北海道職業能力開発協会などが共催した。

会場には、ミニ道具箱や折り畳み椅子、押し入れ用すのこ、マガジントラックなどのモノづくりコーナー、まな板や布団な

どの展示販売コーナーを設置。200人を超える来場者は、開場とともに思い思いのコーナーに詰め掛け、技能士の手ほどきを受けてくぎ打ちなどに取り組みながら、作品を仕上げた。

ポリテクセンター函館の矢吹美裕訓練センター

長は「幼少期にもものづくりの楽しさを知ってほしい」と期待。小学生に折り畳み椅子の作り方を教えた函館地区建築技能士の小西義人会長は「面白そうに上手に作っていた。将来、ものづくりに携わってもらえれば」と目を細めていた。